

平成 26 年 1 月 6 日

京口門だより NO.3

新年あけましておめでとうございます。皆様にとって今年はいよい年となりますようにお祈りします。

当漢方京口門診療所にとりましても、新しい門出の年でもあります。漢方治療が少しでも皆様のお役にたつよう努めてまいります。

お正月は比較的暖かく、過ごしやすい三が日でしたが、また寒さが戻ってきそうです。風邪やインフルエンザには十分注意を払っていただきたいと思います。寒い時期にはよく”冷え症”という言葉がききます。冷え症は体質だと思っておられるかもしれませんが、漢方医学では治療のできる症状と考えています。体の末梢の血行障害が起こっていることは間違いないのですが、さまざまな原因によって血行障害が起こってきます。明らかに動脈が狭くなって血流が妨げられる病気(閉塞性動脈硬化症やバージャー病など)があります。ただ、冷え症は血管が狭くなることだけで起こってくるものでもありません。手足の血管は自律神経という血管(動脈)の動きを調節する神経に支配されています。自律神経の調節を乱し、血流を妨げることで冷え症を起こすこともあります。たとえば女性の生理不順に伴う冷え症は、とくに下腹部で血流を妨げることが原因になっていることがあります。これを漢方では瘀血(オケツ・血の流れが滞ること)と呼び、下腹部に瘀血があると体全体の血流に影響をおよぼすと考えます。この瘀血を治療すれば、冷え症も治っていきます。この瘀血があると更年期症状の”冷えのぼせ”の原因にもなります。女性の冷え症は多くこのような背景があると考えられます。

では男性には冷え症はないのかといえば、末梢の手足が冷えやすい男性もいます。むろん先にのべた血管の病気によるものもありますが、胃や腸の働きの悪い場合、あるいは胃や腸の病気をもっている方は、よく手足とくに足が冷えると言われます。いっばんに腹部はたいへん血流の豊富な場所です。瘀血の場合も同じですが、腹部に問題があると体全体の血流に影響します。ですから胃腸の悪い方はそれを早く治しますと、おのずから手足の冷えも改善していきます。このように冷え症にはそのほかにもさまざまな原因があり、その原因を治してゆけば、冷え症の悩みもなくなっていくと思えます。

生姜(ショウガ)は体を温めるといわれ、一時ブームになりました。たしかに生姜は温める薬です。乾生姜(蒸して乾かしたもの)はもっと温める力が強いものです。しかし、その人その人によって、冷え症の原因は違っていますので、生姜を飲めば解決できるものでもありません。よく相談していただければと思えます。

